

# 日本興亜9条の会たより

No.34

日本興亜9条の会事務局  
(連絡先)和田典彦

2022

090-6523-1351

/02

[nrhkwd1951@yahoo.ne.jp](mailto:nrhkwd1951@yahoo.ne.jp)

## 「全国署名」で憲法改悪STOP!

### 9条攻撃も敵基地攻撃も断固拒否

新型コロナウイルスはデルタ株に代わって年初からオミクロン株が爆発的に感染拡大し、不自由な生活が継続しています。先の衆院選の結果、自公と維新の会を合わせた改憲勢力が衆議院の2/3を大きく上回り、岸田首相は「改憲の精力的な論議を」と前のめりの姿勢を鮮明にしています。憲法審査会は国民民主党までが与党側に加わるなど継続的開催に向け緊迫した状況となっています。いま論議されているのは「敵基地攻撃能力の保有」や「GDP比2%の軍事費」であり、台湾有事での際限ない自衛隊の武力行使につながりかねない内容となっています。

一部に野党共闘を否定的にとらえる論調もありますが、今の選挙制度では共闘による統一候補を立てずに闘うことは現実的ではありません。今夏の参議院選挙では新たな改憲策動を阻止するため、いまだ一度、広範な市民と野党が共闘して取り組むことを心から訴えます。

九条の会をはじめとした市民の草の根からの運動は、これまでの粘り強い闘いで立憲野党とも共闘して自民党などの改憲策動を阻み続けてきました。九条の会を含む4つの団体で構成する「9条改憲NO! 全国市民アクション」は新たに「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけ、損保9条の会・日本興亜9条の会はこれに呼応して取り組むことを決定しました。憲法9条に自衛隊を書き込むことと緊急事態条項を創設することなど改憲4項目に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし、医療、公衆衛生などの向上を実現する政治を求める内容となっています。署名活動にあたり、理解を進めていただくため損保9条の会として別紙の「解説チラシ」を作成しましたので、参照下さい。

皆さまには署名用紙を2枚送付します。ご家族をはじめ友人・知人の方を含め署名にご協力をお願いいたします。5月3日の憲法集会に向けた4月末を第一次集約としますので、署名は同封の返信用封筒でご返送をお願いします。1枚で5名分記入できますが全部埋まらなくても結構です。なお、恐縮ですがご返送の際の切手代カンパにご協力をお願いいたします。

日本興亜9条の会

活動資金財政カンパにご協力下さい

いつも日本興亜9条の会の活動を全面的に支えていただきありがとうございます。当会の活動費は全て皆さまのカンパで賄っています。前回2018年4月にカンパをお願いしほぼ4年が経ちます。この間「たより」を10回発行してまいりました。今日までに累計で405,133円の現金や切手によるカンパをいただき本当にありがとうございました。とりわけ最近は切手でのカンパが多く、2021年末の残高は128,043円(現金76,752円、保有切手51,291円)となっています。

「たより」は首都圏を中心に全国の現役の方、OG・OBの方あてに毎回約450通を発送しており、郵送料を中心に印刷代や封筒代、プリンターインク代など1回あたり5万円前後の費用を要します。年間3回程度の発行を予定しておりますので、まことに心苦しいお願いではありますが、今後の継続的な活動を支えていただきたく活動資金の財政カンパにご協力をお願い致します。もちろん切手によるカンパも大歓迎です。

#### ●郵便局から

同封の「払込取扱票」をご利用下さい。  
振替料は加入者側で負担しますので**無料**です。  
ただし現金払込には手数料が徴収されます。郵貯口座をお持ちの方は通帳持参でATMにて手続き下さい。

#### ●銀行振込で

ゆうちょ銀行(9900)〇一九(ぜ)11(井)1)支店(019)  
当座 0686973 日本興亜9条の会

# オンライン方式も取り入れ参加 200 名

昨年10月の講演会は、会場参加の62名だけでなくYouTubeによるオンライン方式も併用し、延べ200名ほどが参加しました。



損保人トークとして登壇した村上護さん(元大成火災・広島出身)は、自らの被爆体験と重度障害を持つお嬢さんのことも触れ、核兵器禁止条約批准署名をはじめ核廃絶・平和への取り組みを熱く語られました。



そのあと、テレビでもおなじみの安田奈津紀さんが「被災地・紛争地の声から考える平和のあり方」と題して講演。冒頭に「本当に日本は平和だと思いますか？」と問いかけ、「内戦が続くシリア」「大地震直撃の陸前高田」「入管施設で収容中に死亡したウイシュマさんの母国スリランカ」など、戦争・大災害・人権侵害の各地での状況を徹底的に取材する中で、平和・民主主義の大切さを実感していると語られました。

(講演の内容は損保9条の会HP:<https://www.sompo9.org/>で。また無料のDVDも用意していますので必要な方は事務局にご請求下さい。)

リモートでの講演会費用を賄うため皆さまに損保9条の会へのカンパのご支援をお願いしましたが、139名からちょうど50万円(1/22現在)という多額のご協力をいただきました。今後より充実した講演会開催とすべく有効活用していきたいと考えております。本当にありがとうございました。

## お礼とお知らせ

ご協力ありがとうございました

### 核禁条約署名に457筆

昨年1月に発効した核兵器禁止条約は批准国が59カ国・地域となり、今年3月に初開催の締約国会議にはドイツ・ノルウェーがオブザーバー参加の方針など、NATO加盟国を中心に広がりを見せています。

日本でも政府に条約参加を求める地方議会の意見書は、「核兵器禁止条約署名」の後押しもあって627に達し、全議会の35%を超えました。しかし岸田首相は「核兵器保有国が参加していない」と、唯一の戦争被爆国にもかかわらず参加を拒否し、最大の核保有国アメリカ追従の姿勢を明らかにしています。

なお、日本輿証9条の会には90名から457筆の署名が寄せられました。皆さまのご協力に感謝いたします。損保9条の会全体では1,749筆が寄せられています。核兵器禁止の取り組みは継続しますが、新しい署名も始まることから集約はいったん終了とします。

## 損保9条の会の活動が新聞で紹介されました

「損保は平和産業」



損保9条の会事務局長の佐藤さんは新聞赤旗の取材に応じ、損保各社が戦争保険販売という形で先の戦争に加担し経営破たんした苦い経験を語り、「損保は平和産業」を合言葉にいつか来た道に進まぬようプレーキ役を果たすことが必要、と述べています。

(記事写真は「たより」紙面の関係で一部カットし加工してあります)